

【子ども大学よこはま「あした、何を食べる？」補講（ほこう）】

「木原生物学研究所の見学とムギの観察」（2019年5月11日）



☆学生の感想

学年	一番興味をもったところ、 関心をもったこと	その他の感想
中1	麦の種類や品種改良について関心をいろいろ持ちました。	リース作りもきれいにでき、ストローもすぐにごろも作ることができて良かったです。ありがとうございました。また、ボランティアとしてよろしくお願いします。
中1	木原先生について	コムギが無ければとても大変なことが起きるとは知りませんでした。しかし、この講義でコムギのことを大切にしたいと思いました。これからは大切にしていきたいと思います。
中1	麦をそれぞれ違う環境にして育てて実験しているのがおもしろいと思いました。	普段、体験することが出来ないようなこと（麦畑に入って麦の観察、ワークショップ）が出来たので楽しかったです。
小6	タルホコムギ+マカロニコムギがパンコムギだということを初めて知りました。	—
小6	畑に行った時の話について、様々なコムギがあり、興味が湧きました。	今日は、学校ではできないような小麦のストローやリースを作ったのがとても楽しく、小麦のことについて良く知ることが出来ました。
小6	植物に切れ目を入れたら赤く染まること。	リース作りが楽しかった
小6	麦の種類によって、色が違ったり、形が違うところを自分の目で確かめられたこと。	麦ストロー、ちゃんと使おうと思います！麦畑に麦がたくさんあってびっくりしました。家で麦について調べようと思います。
小5	遺伝子の多様性。	—
小5	木原博士はとてもすごい発見をした上に、オリンピックの選手団長にもなったこと。	実際に麦はじっくり見たことがなかったので、今回、じっくり見れて、本当に良かったです。
小5	ストローとリースを作ったのが楽しかった。	楽しかった。

## ☆保護者の感想



久しぶりのこども大学よこはまの講座でしたが、今回もとても学ぶことが多かったです。補講を受けることが出来たこと、その提案をして下さった先生にも感謝しています。長年お世話になりました。ありがとうございました。

貴重な時間をご提供頂きましてありがとうございました。子ども達にとって間違いなく心に残り、これからの人生のエネルギーになっていくと思えました。これからも未来の研究者たちのために、たくさんの機会を与えて頂きたいです。

前回の授業で食糧難になる可能性が高い事を初めて知り、家族で話し合うようになり、参加しました。実際、ムギを手にして、より現実を感じ、今後はまた、子供とこの先の地球の事を考えていきたいです。

普段、入れない研究所の内や、働いている方の一面が見れたこと、親子共に良い経験になりました。

今日は参加できて良かったです。やはり、話を聞いたり、画面で見るだけより、実物に触れたりできる方が記憶にも残るし、楽しい勉強になりました。

身近な問題から、世界の問題まで坂先生の話の内容や伝え方が分かり易くて、大変面白かったです。子ども達がこの授業をきっかけに、環境や生命について考えていけたら良いと思えました。坂先生、学生の皆様もありがとうございました。ワークショップも楽しかったです。麦にはじめて触れました。

麦の生まれを知り、特徴を知ることで、多様性の大切さを学ぶことができました。子どもに何を体験させるかもありますが、知識ではなく、何を感じ、考えるかが、この先大切だと分かりました。

今日授業を受けるに当たって、私が思っていたことを木原ゆり子さんがおっしゃっていて、本当にその通りだなと、授業を通して思いました。娘は勉強が苦手で、始める前からやりたくないという意識が働いてしまうことが多いのですが、勉強というのは、机に向かってすることだけではなく自分の身近にあるもので、疑問に思う事を調べたり、観察することも、そうなんだと気付くキッカケになったと思います。子ども大学の授業を今まで受けて来て、少し自信を無くして、今年度どうするか悩んでいたのですが、坂先生の授業を受けて、勉強の楽しさが分かったようで、今年度も受講することに決めました。今後もこのようなワクワクする授業をお願いします。親もとても楽しく授業を聴くことが出来ました。ありがとうございました。

今回、このような機会を設けていただき、とてもうれしく思っています。日頃から興味を持っていて、子供にも興味を持って欲しいと思っていたテーマで、坂先生の講義を聴けたこと、本日、補講で、ここ舞岡の研究所に来て、見学、講義を受けれたこと、子どもにとって、とても良い経験になったと思います。ありがとうございました。

楽しかったです。外に色々な種類の木がある事で麦以外の食品も研究しているのを知って、自分でも考えてみようと思えました。